



FISL News Letter

国際連帯税・金融取引税

第 11 号 / 2015 年 3 月 30 日

◆ 発行・連絡先：国際連帯税フォーラム (FISL) 事務局 ◆

〒110-0015 東京都台東区東上野 1-20-6 丸幸ビル 3F オルタモンド気付

Tel: 03-3831-4993 Fax: 03-3834-2406 ウェブサイト: <http://isl-forum.jp/>

♪ 訪日外客数、過去最高(2014年) ♪

航空券連帯税あれば 160 億円の税收

2014 年の訪日外客数は 1341 万 4000 人となり、過去最高を記録しました。今年の 1、2 月期ではさらに増加が顕著となり、中国旅行客の「暴買」がたいへん話題となりました。

ところで、世界の主要国では航空券(運賃)に対し、様々な税金を課しています。

フランスは航空券連帯税、英国は航空旅客税等々。しかし、日本では航空券への課税はありません。その結果、国際線旅客 1 人当たりの料金比較を見ますと、成田を 100 とすれば、英国は 510、ドイツは 266... などとなっています(下記グラフ参照)。

いわば日本居住者が海外に出ると、フランス、英国、ドイツ、米国等に航空券税を払いっ放しという事態になっています。

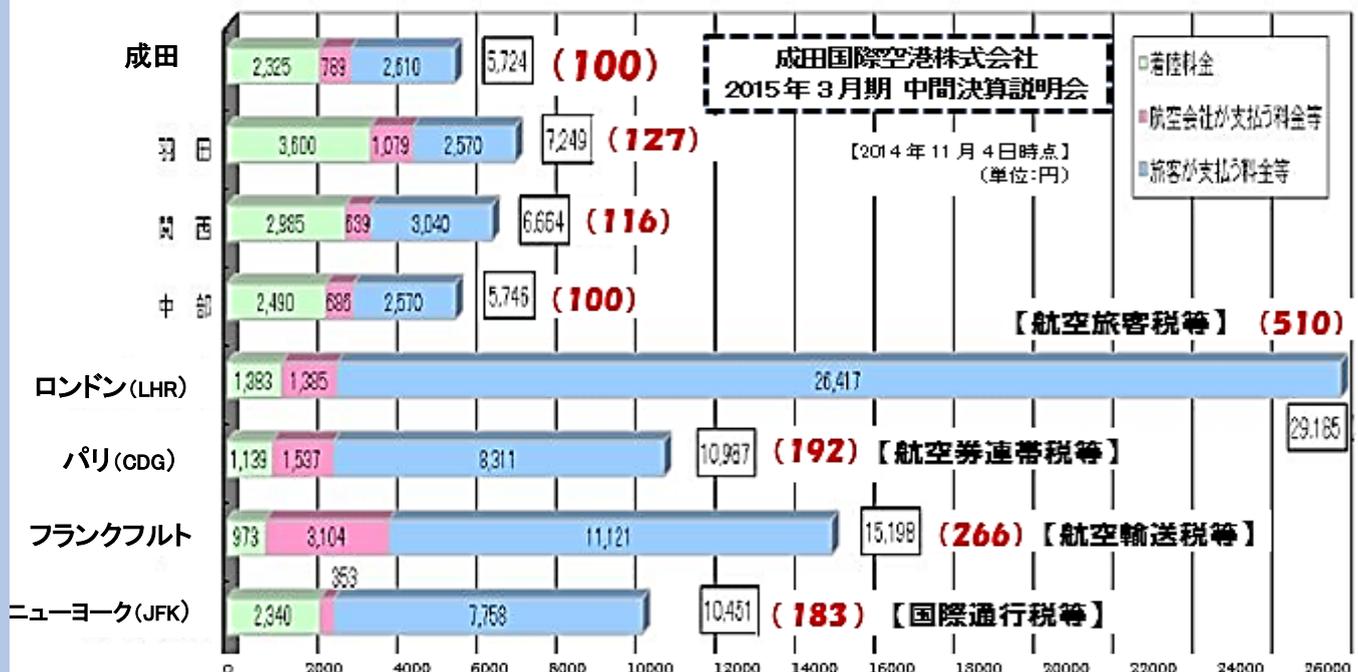
このことから、日本でも航空券(連帯)税を国際線利用者から徴収することは可能ですし、ぜひ同税を実施すべきです。

ところで、外国の訪日客からの税收はどの程度となるのでしょうか。フランス並みの定額税で 160 億円ほどに上ります(2014 年利用者)。

この税收を、今後も拡大することが予測される Deng 熱やその他の感染症対策に使うことがもっとも有効です。

WORLD
SKY GATE
NARITA

世界主要空港の空港利用料金比較 (国際線：旅客1人当たり)



※ () は成田を 100 とした場合の料金水準 【 】 内は制作者の挿入